

## 第3回狛江市下水道総合計画策定検討委員会 会議録

- 1 日時 令和7年9月16日(火) 午後6時～7時40分
- 2 場所 防災センター 301会議室
- 3 出席者 委員 長岡 裕、坂邊 淳也、五十嵐 秀司、都築 完、谷田部 英雄、  
一瀬 隆文  
事務局 岩崎 俊勝、渡邊 耕介、音成 美貴、大橋 京侑  
傍聴 1名

### 4 議題

- (1) 狛江市下水道総合計画（案）について
  - ・概要
- (2) その他
  - ・次回以降の会議について

### 5 配布資料

- 1 狛江市下水道総合計画（案）
- 2 狛江市下水道総合計画 概要

### 6 議事概要

- (1) 下水道総合計画（案）について

#### 【事務局】

—資料に基づき、下水道総合計画（案）について説明—

【委員】廃油を下水道に流さない等といった市民への啓蒙活動に対する取組を記載した方が良いのではないか。

【事務局】第4章の施策で「下水道の見せる化」として積極的な情報発信を具体的な施策として挙げている。

【委員】まず、汚水処理費について、類似自治体平均や周辺自治体平均からも低くなっているとあるが、府中市・調布市・小金井市・小平市といった野川処理区と比較すると高い方ではないか。狛江市の今後の情勢を鑑みると必ずしも経営状況が良いとは言えず、下水道使用料改定につなげていく場合には説明が求められるのではないか。

図1-20内の説明文に文言の不足がある。例えば「国からの公営企業会計や経営戦略の策

定要請」とあるが、「公営企業会計への移行や経営戦略の策定要請」などといった表現が正しいと思われる。

【事務局】確認・修正を行う。

【委員】経費回収率、下水道使用料、汚水処理費は、狛江市の数字のみ令和6年度のもののようだが、グラフは令和5年度となっている。令和6年度の決算値へ更新し、他市の決算の内容等も踏まえて複合的な検討を実施すると良いのではないか。

【事務局】狛江市の令和6年度決算値は把握できるが、周辺自治体については現時点で令和5年度決算値までしか把握できていない。本文と図中の数字についての相違について注記を付ける等の対応行う。

【委員】狛江市ならではの特徴を把握できると良いと思う。

【委員】下水道を取り巻く状況として、今年発生した八潮市の陥没事故に関連したことを総合計画に盛り込む必要があるのではないか。

【事務局】検討する。

【委員】八潮市の陥没事故に伴って実施をした調査中に発生した硫化水素による死亡事故が発生している。狛江市の中にもそういった危険性がある箇所はあるのか。

【事務局】狛江市内にも伏せ越しが14カ所あり、腐食がしやすかったり、汚泥が溜まりやすくなっている。そういった箇所には定期的に清掃を行っており、併せて点検をおこなっています。八潮市の陥没事故を受けた国からの指示による重点調査では、直径2m以上の箇所が対象とされており、狛江市内では2箇所の伏せ越しが調査対象となっている。

【委員】人口推計について、社人研(R5)の推計値が令和5年度までの実績と大きな乖離があるが、原因は何か。

【事務局】社人研は国勢調査による居住者数を基に推計している。令和5年度の実績値は住民票に基づく住民基本台帳の人口であり、集計方法が異なるため乖離が出ている。シュミレーションは、多摩川・荒川流総計画(令和6年度策定)の将来推計人口に対して直線補完を実施した図1-8の人口推計を基に行う。

【委員】令和5年度の有収水量当たりの下水道使用料を示しているが、別のページと違っているので、誤記ではないか。また、令和6年度の数字にするべきではないか。

【事務局】確認し、令和6年度の数字に修正し、グラフの差替えも行いたい。

【委員】近年の有収水量が減っている要因は何か。また、有収水量当たりの維持管理費がここ数年で大きく増えているが、そういうものなのか。

【事務局】コロナ禍以降の有収水量の減少については一般家庭と大口利用者の動向を確認

するなどし、分析を試みたが、どちらも減少しており、理由として提示できるものはありませんでした。

【委員】市民への情報発信が大切になってくるが、こまエコまつりはどのように周知しているのか。

【事務局】狛江市の広報誌「広報こまえ」や環境部で作成している環境広報紙「こま eco 通信」で情報発信をしている。こま eco 通信は全戸配布をしている。

【委員】雨水浸透ますは市が維持管理をしているのか。

【事務局】市が設置している道路上の雨水浸透ますは市が維持管理を行っている。

【委員】物価上昇の動向のグラフが載っているが、説明が足りないように思う。他にも指標があるため示した方が良いのではないか。また、令和6年度の値についても公表されているので、掲載した方が良い。

【事務局】表記について検討する。令和6年度の値を確認し、掲載するようにする。

【委員】収益的収支について、令和6年度が令和5年度よりも増額しているように見える。あくまで物価上昇が原因なのか、流域下水道維持管理負担金によるものなのか等、その要因について分析し、課題の方に載せるべきではないか。

【事務局】流域下水道維持管理負担金の増額は令和8年4月から予定されているため、物価上昇が影響を与えているものだと考えられる。なお、流域下水道維持管理負担金については、財政シュミレーション内では勘案している。

【委員】令和6年度は営業収益が増えているように見えるが、年度で変動があるものなのか。

【委員】このグラフで下水道使用料による収入なのかなど内訳が分からない。雨水事業が多くなると、一般会計からの繰入金が増えて営業収益が増加することが考えられるが、判断できない。雨水と汚水に分けて示してもらえると良い。

【事務局】確認し、表記を検討する。

【委員】「公営企業会計に習熟した人材の育成」について、「人材の育成が、今後の下水道事業経営には必要です。」とあるが、中途半端な表現である。「取り組みます」や「体制づくりをします」といったように断言した方が良いのではないか。

【委員】令和元年東日本台風で狛江市も非常に大きな被害を受けた。これについては今は大丈夫か。

【事務局】同規模の状況になった場合に対応できるようにポンプによる排水等の緊急対応

の準備はしている。浸水被害軽減対策については、浸水被害軽減計画を策定し、根川雨水幹線ポンプ場と多摩川雨水幹線ポンプ場の早期整備を目指して進めているところである。

【委員】財源確保に向けた取組で補助金の活用について挙げているが、これまで通りということなのか、それとも新制度があってこれからより積極的に活用していくということなのか。

【事務局】これまでと同様に、新制度や新たな補助金についても積極的に情報収集し、活用していくことをイメージしている。

【委員】台風や大雨などで市民に避難体制など、ソフト対策は別の計画なのか。

【事務局】地域防災計画など、防災部門での定めがある。P64に記載しているが、雨水管理総合計画で定めているものがある。

【委員】P D C A サイクルを示している図にあるデータベースシステムというのはすでに構築されているのか。

【事務局】下水道台帳についてデータで管理をしており、カメラ調査のデータ等もデータ化しており、維持管理に活用している。

【委員】昔、下水道を整備した時に受益者負担金を支払ったが、今の新築戸建てについては狛江市では受益者負担金の支払いはあるのか。

【事務局】現在は支払いの必要はありません。

【委員】4章「具体的な取組み」とあるが、あまり具体的ではないのではないか。

【事務局】計画期間が30年であるため、現時点で具体的に明記できることとできないことがある。可能な限り具体的に書けるようにしたい。

【委員】「具体的な」という文言を抜くことを考えても良いのでは。

【事務局】検討する。

## (2) その他

【事務局】

・本日の資料等について、気付いた点等があれば今後1週間を目途にメール等でご連絡いただきたい。

・次回委員会で素案について了承いただき、パブコメを実施して今年度中に計画を取りまとめる予定である。

—第5章以降の財政シュミレーションについては、委員の意見を受けた修正が完了した段階で検討条件等を事前に提示する。—

—次回以降の委員会の開催日について、10月23日（木）を予定とするが、変更となる場合は別途連絡する—